

# パラスポーツを普及課題する ために

龍谷大学松畑ゼミBチーム

宮本幸亮 杉下啓輔 古瀬菜々子 青木友希  
西村厚佑 尾崎俊人 立入康平 早川太悟

# 2020年東京オリンピック・パラリンピック

• 東京オリンピック

• パラリンピック

A



# スポーツの価値

精神的な充足感や  
楽しさ・喜び

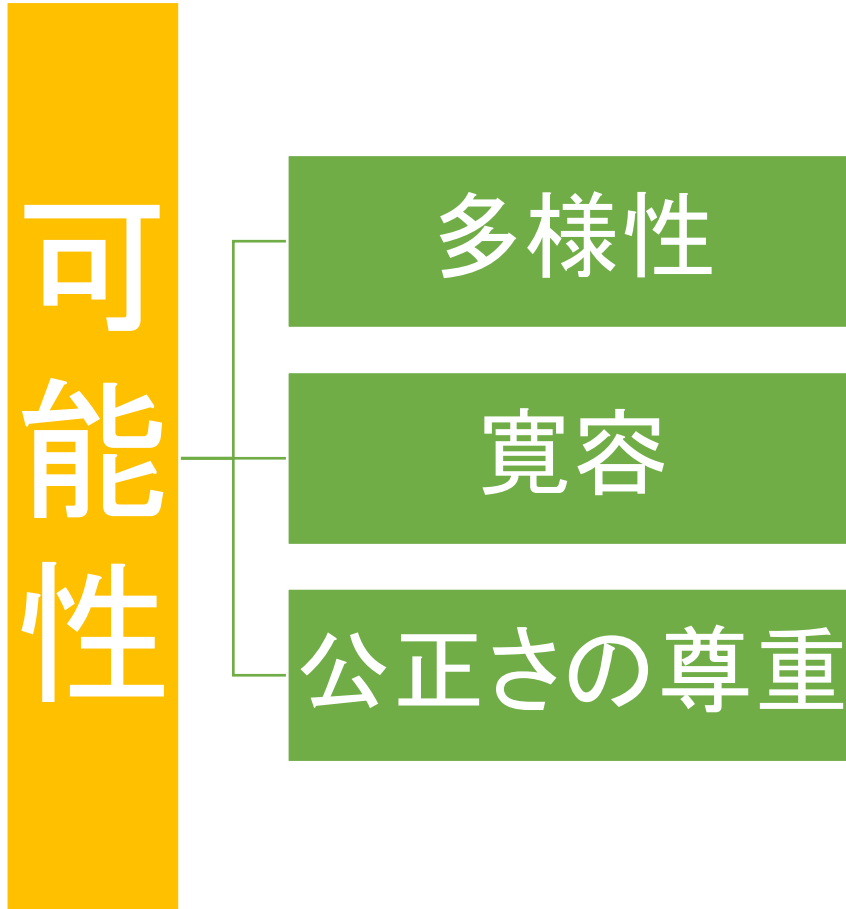
心身ともに健康で  
文化的な生活

人間の本源的な  
欲求

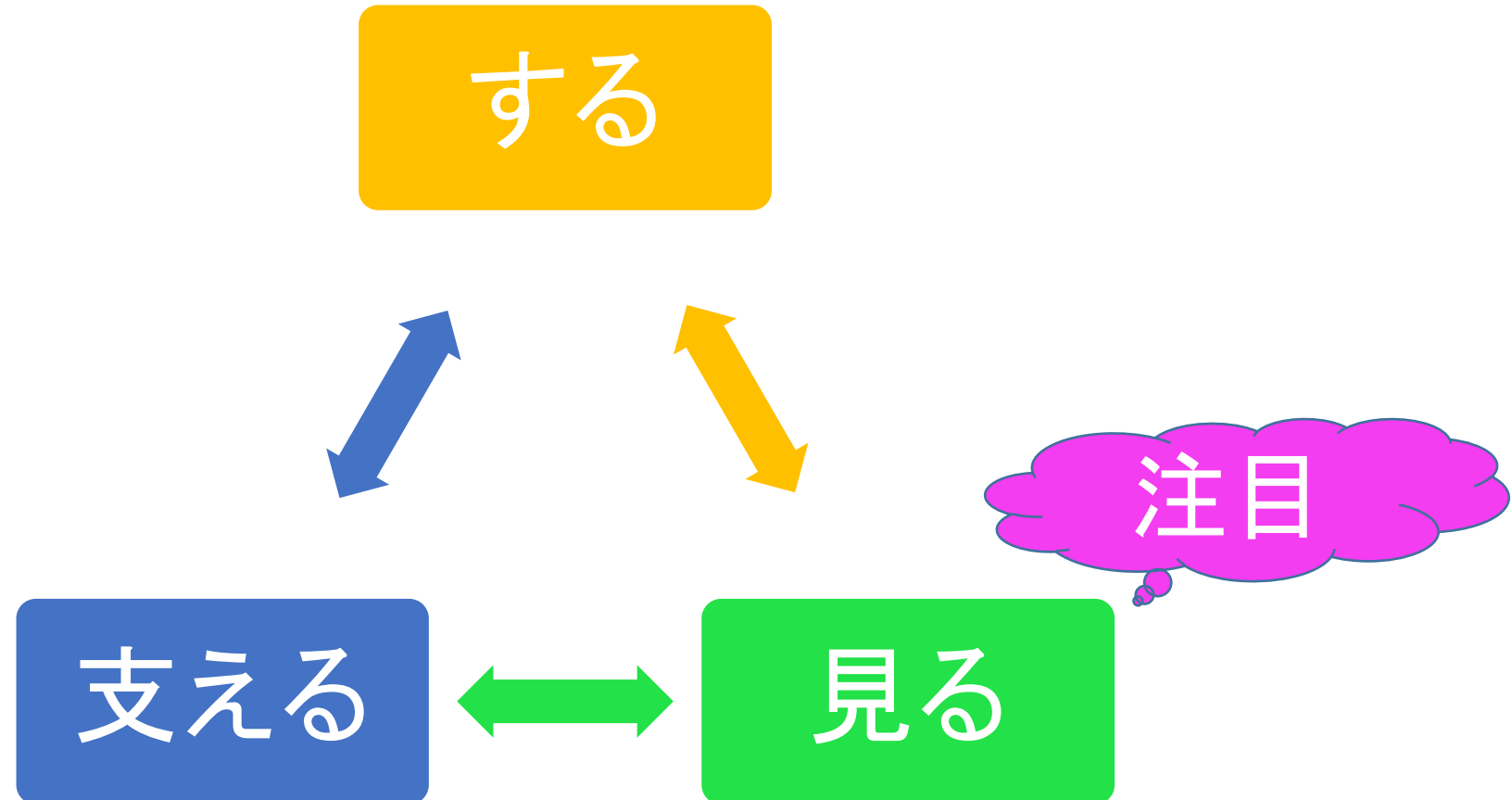
人々を勇気を勇気づける  
結びつける

社会を変革する契機

# スポーツの価値



# スポーツへの関わり方



障害者スポーツは「する」「見る」「支える」すべての人口において認知度が低い

# ウィルチェアラグビー世界大会優勝



その他にも世界で  
十分戦える競技が  
ある！！

A green starburst shape with multiple points, centered on a white background. Inside the starburst, the text "知られていないことが問題" is written in black, bold, sans-serif font. The text is arranged in two lines: the first line contains "知られていないことが" and the second line contains "問題".

知られていないことが  
問題

# 堀井聡太選手

- 龍谷大学サッカー一部所属
- 日本ろう者サッカー協会所属
- 第4回アジア太平洋ろう者サッカー選手権大会日本代表
- 音感性難聴
- 2020年のW杯本大会出場と、21年の聴覚障害者の五輪「デフリンピック」も視野に





# 研究方法・結果

1. 龍谷大学内で「パラスポーツ」認知度アンケート  
一般の大学生がどれくらいパラスポーツ、パラリンピックを認知しているのか。



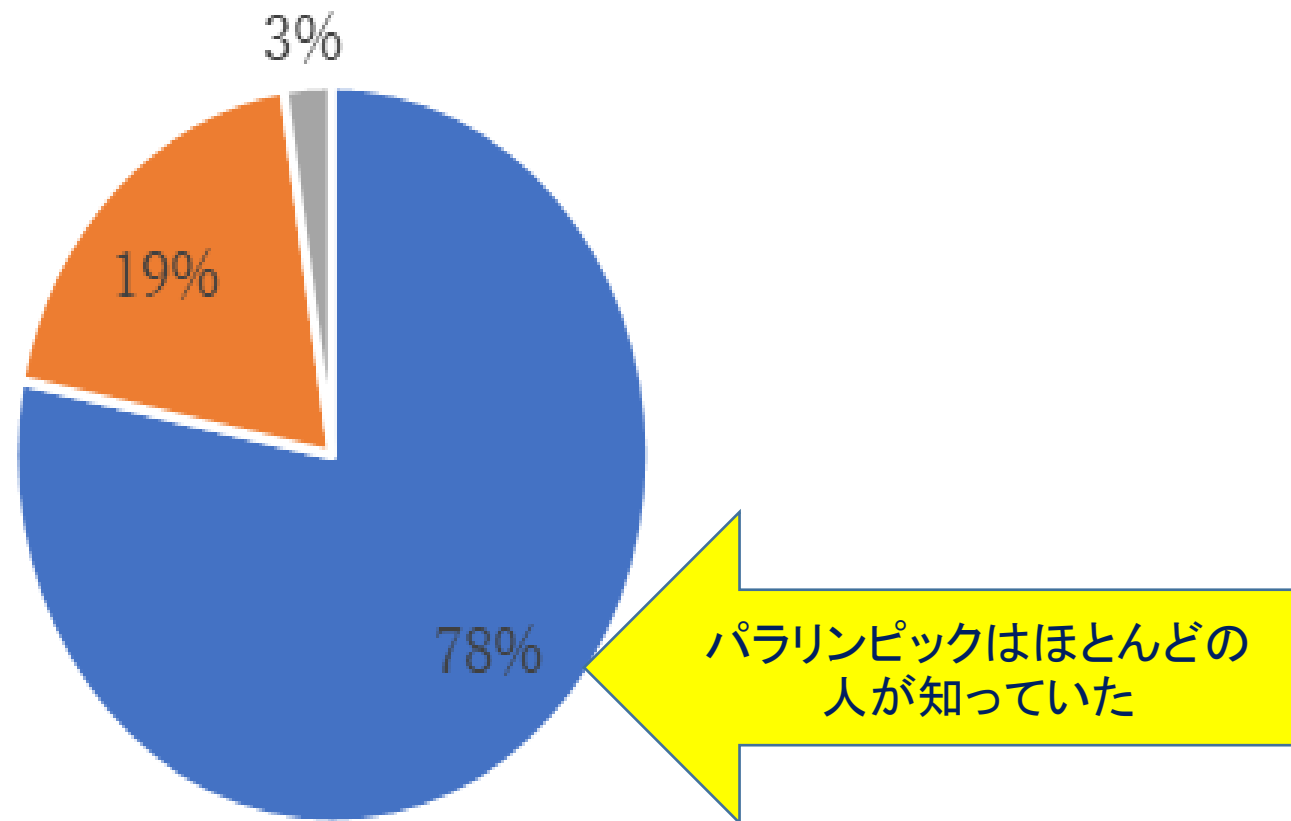
You,  
Unlimited

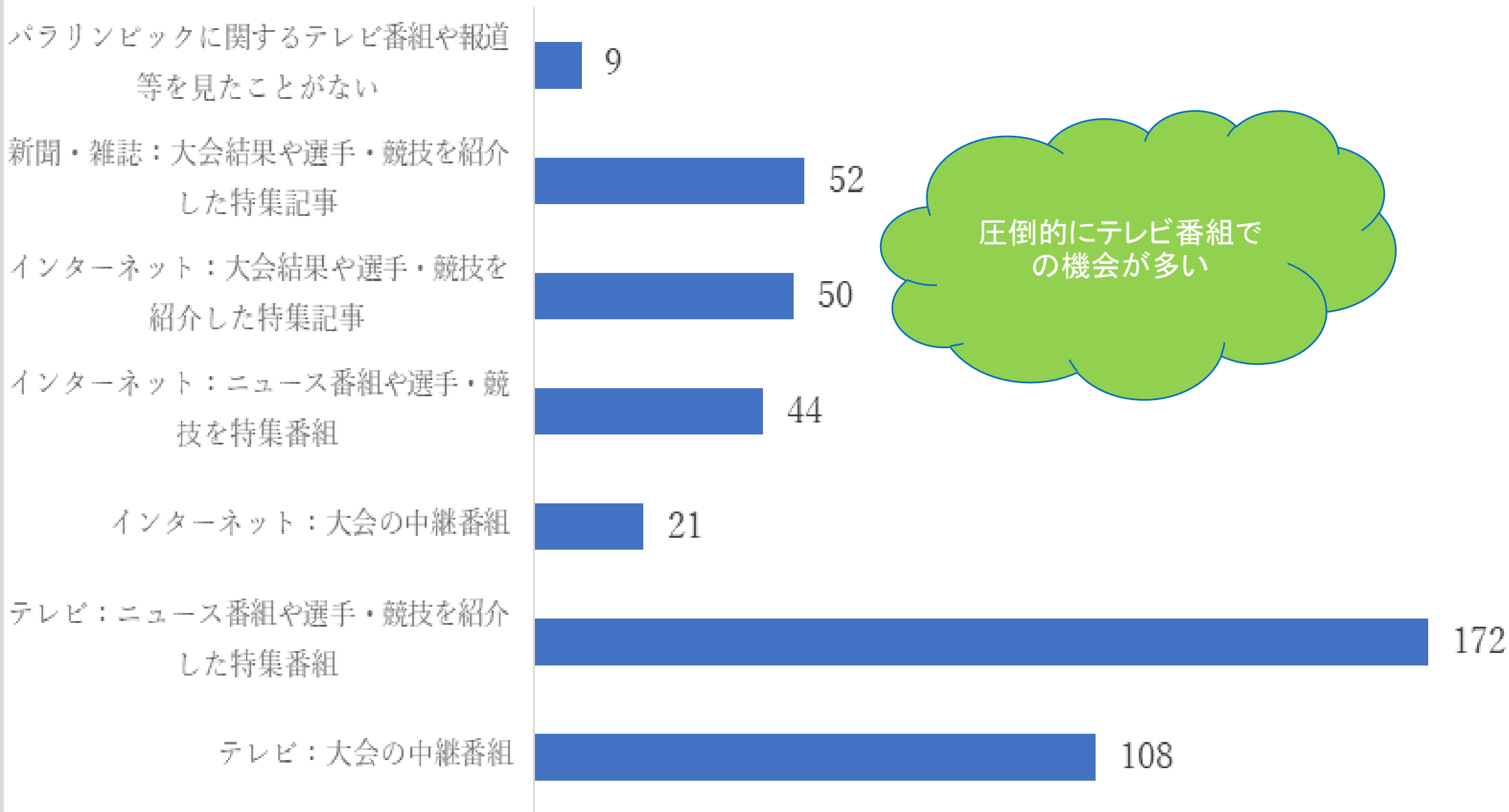


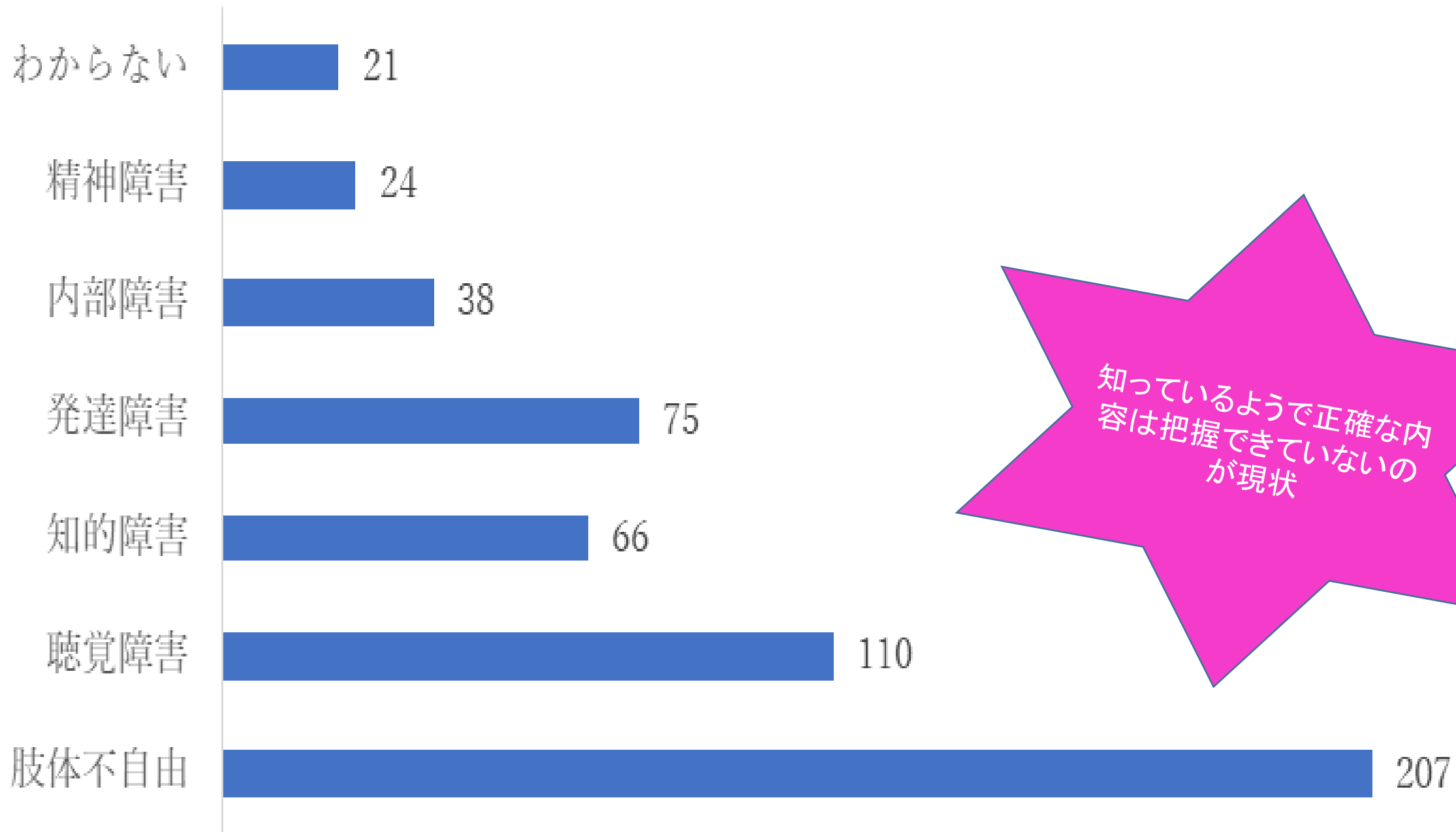
龍谷大学  
RYUKOKU UNIVERSITY

# パラリンピックを知っている

- 内容を知っている
- 言葉だけ聞いたことがある
- 知らない

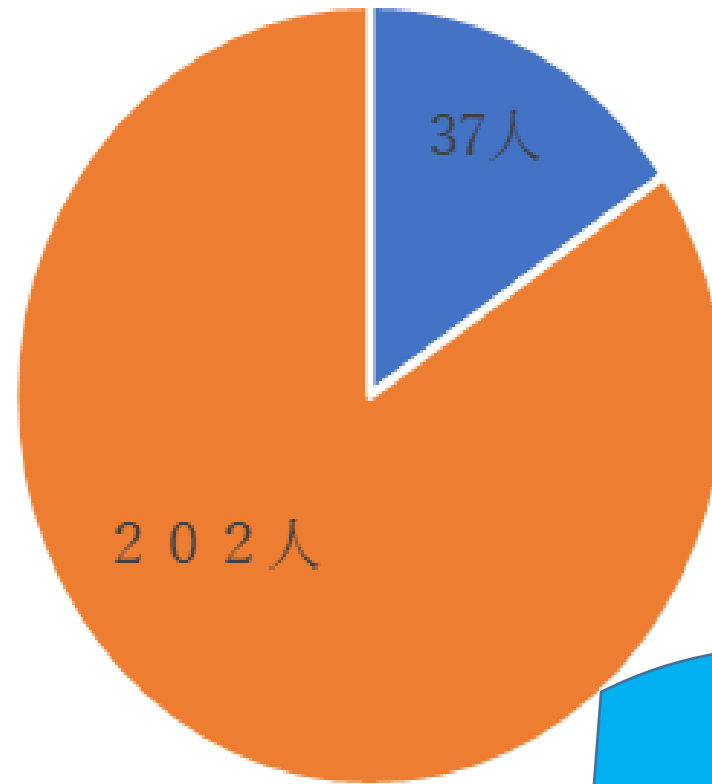






知っているようで正確な内容は把握できていないのが現状

# パラスポーツを直接観戦したことがある



大半が直接観戦したことがない  
という結果に・・・

■ ある ■ ない

# 堀井聡太選手インタビュー

パラスポーツについて知ってもらうことが、普及への近道

競技経験者自身が講演会や講座を開くのも普及へ繋がる



**R.U.F.C**  
Ryukoku University Football Club Since 1968



# まとめ

多くの人がパラリンピックに関して正確に認知できていないのが現状  
正確に認知してもらうには

- メディアの露出
- 幼いころからパラスポーツに触れる機会

などを増やすことが重要  
それらのきっかけづくりとして…

# 小学校の義務教育課程に 追加



障害者がスポーツを実施しない理由

特に理由がない

33%

↳スポーツ自体にそもそも興味がない

出典：平成29年度 スポーツ庁「地域における障がい者スポーツ普及促進事業（障がい者スポーツ参加促進に関する）」報告書

# 全日本ろうあ連盟

2020年以降、小中学校の教科書に**オリンピック・パラリンピックに関する記載が増える傾向**に。

しかし、

障害者スポーツの認知度はまだまだ低い傾向・・・

そこで、

**学習指導要領の見直しの要望書提出**

# 文部科学省・学習指導要領

障害者の人でも授業が受けやすいようコンピューターの導入等記載あり

しかし

- 体育の授業
- 教科書の記載

ほぼないのが現状・・・

# 小さいころから触れるメリット

- パラスポーツを実際に体験することにより、  
スポーツの**楽しさ**や**健康維持**・スポーツ自体の**関心**をより一層持つことが出来る。
- いざ自分が障害を持った時に、  
パラスポーツをする**抵抗が小さくなる**。  
(パラスポーツに取り組んでみようと思える。)

# 文部科学省の検討素案 現代の子供の課題

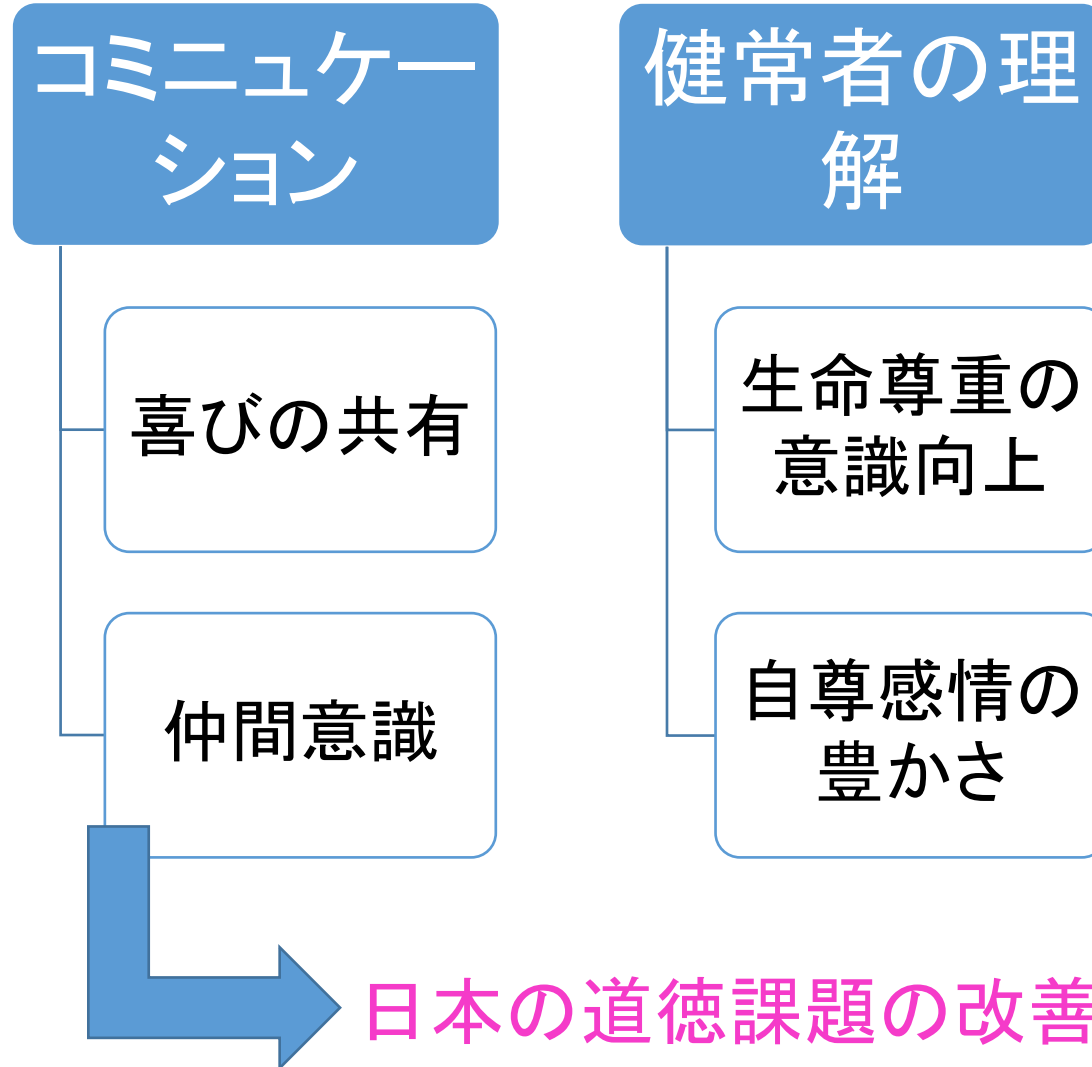
生命尊重の心の不十分さ

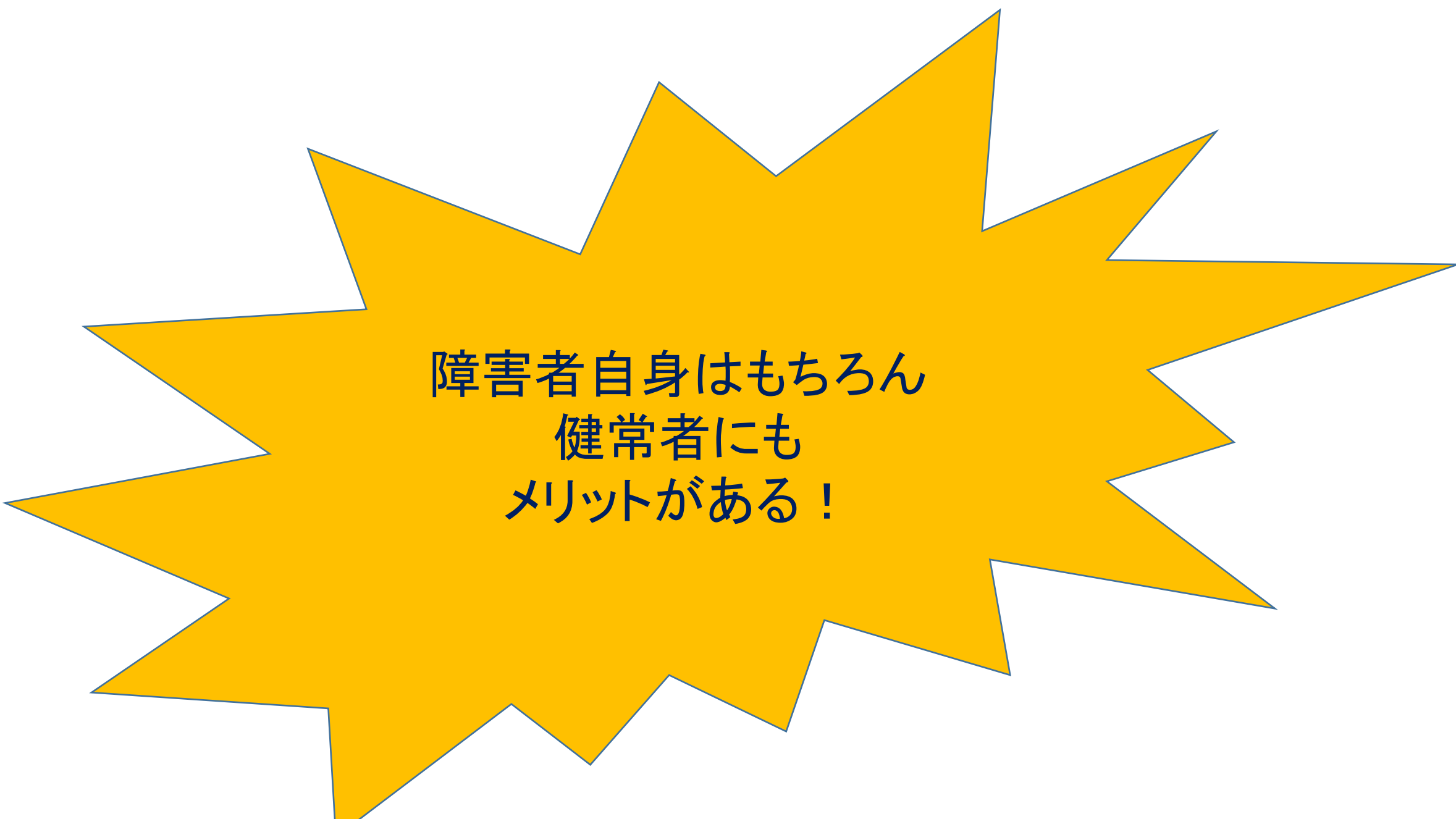
自尊感情の貧しさ

基本的な生活慣習の未確立

人間関係を形成する力の低下

しかし、小さい頃から経験することで...





障害者自身はもちろん  
健全者にも  
メリットがある！

# (1)IPC委員会の流れと提案

現在

オリンピック



パラリンピック

提案

パラリンピック



オリンピック

現時点では難しいが実現可能の余地あり！

さらに  
オリンピックパラリンピック  
の閉会式を同時に行い  
統一感を出す



# これをふまえて

オリンピックが終わって  
から閉会式をする

パラリンピックが始  
まったら開会式をする

閉会式をパラリンピッ  
クが指揮することによ  
り、統一感が生まれる

## (2)障害者基本法第9条

【障害者週間 12月3日～9日】

第3項:国や地方公共団体は、障害者週間の趣旨にふさわしい事業を実施するように努めなければならない。

↳ふれあいや交流をコンセプトにしたイベントは行われているが、体験イベントはない。

【パラスポーツの日 8月25日～31日】

# これをふまえて

年に2回障害者スポーツのイベント開催

しかしこの週間だけではなく、パラスポーツ体験教室をアーティストのライブのように全国各地巡回し拡散させる！

# 私たちの施策として

(1) オリンピックより先にパラリンピックを開催

(2) 障害者スポーツイベントの開催

# 参考文献

- スポーツ庁：  
[http://www.mext.go.jp/sports/b\\_menu/sports/mcatetop06/1371877.htm](http://www.mext.go.jp/sports/b_menu/sports/mcatetop06/1371877.htm)
- 全日本ろうあ連盟：<https://www.jfd.or.jp/>
- 文部科学省：[http://www.mext.go.jp/a\\_menu/sports/suishin/](http://www.mext.go.jp/a_menu/sports/suishin/)
- 日本財団パラリンピック研究会「国内外一般社会でのパラリンピックに関する認知と関心」調査結果報告：  
[http://para.tokyo/doc/survey201411\\_2.pdf](http://para.tokyo/doc/survey201411_2.pdf)